

1、開催日時：平成 20 年 4 月 18 日 15：00～16：00

1、開催場所：秋田県臨床検査技師会事務所

1、当技師会理事数 25 名

参加理事：菅原博之、畠山義彦、藤田美好、安部毅、宮野勇徳、三浦徹、奈良悦子
岩谷幸栄、三浦浩子、伊藤功、伊藤良子、安部真理子、伊藤優子、佐藤寛
田中喜美子、遠藤正志、菊地孝哉、高橋和則 以上 18 名

欠席（委任状提出）理事：川上登、小笠原彰、高橋稔、榊田由美子、中川聡、鈴木睦子
渡部 晃 以上 6 名

参加理事 18 名、委任状提出理事 6 名、計 24 名で総理事数の過半数を超えており、今回の理事会は成立した。

1、書記：奈良 悦子

1、議事録署名人：宮野 勇徳、佐藤 寛

1、議事内容：菅原会長が議長となり、資料に沿って各担当者より内容の説明を受けながら審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 菅原会長

<書記の選出>

・書記は、中央 県北 県南 由利の順で行われており、今回は県北より奈良悦子が選出された。

<議事録署名人の選出>

・宮野勇徳、佐藤寛の 2 名が選出された。

I 会長挨拶

行事がいろいろ春先に集中していて忙しいと思いますが、頑張って取り組んで欲しい。

先日、県学会の打ち合わせで、本荘由利支部の会議に出席したが、精力的に取り組んでおり素晴らしい学会になるだろうと期待している。皆さんも協力して欲しい。

II 議 事

議長 菅原会長

1) 常任理事・理事の役割分担の確認について

2) 平成 19・20 年度役員推薦委員について

3) 理事の変更について（退職に伴い）

県北支部：赤石良子（公立米内沢病院）→三浦浩子（公立米内沢病院）

- 4) 事務所事務員 泉谷美穂子さんの給与について
勤務時間が増える傾向があり、年間予算（30万円）をオーバー
- 5) 第50回東北医学検査学会準備委員会の具体的な内容について
- 6) 平成20年度第1回通常総会について
- 7) その他

菅原会長進行のもと、次第に従って会議を進めていった。

1) 常任理事・理事の役割分担の確認について

- 昨年度は役割分担表に従って活動してもらったが、事務局の仕事が煩雑で混乱したので、大きな事業だけでも再確認したい。
- 昨年度の総会は事務局で開催したが、今年度の総会は藤田副会長を中心に、川上登、伊藤優子、佐藤寛、中川聡の総務担当理事で協力して開催して欲しい。5月24日第1回通常総会を予定している。
- 毎年アルヴェでやっている健康展と県委託事業は阿部副会長を中心に三浦浩子、阿部真理子、渡辺晃、遠藤正志の地域保健活動事業担当の理事で協力してやって欲しい。

2) 平成19・20年度役員推薦委員について

- 委員の交代があった地区もあるが、今回は中央支部 原田誠三郎（秋田県中央保健所）、小野忠吉（中通総合病院）、館岡均（秋田赤十字病院） 県北支部 上杉政壽（北秋中央病院）、高橋茂雄（鹿角組合総合病院） 由利支部 斎藤克司（本荘第一病院）の方々です。県南地区はまだ連絡きていないので事務局まで早く連絡を入れてください。

3) 理事の変更について（退職に伴い）

- 県北支部：赤石良子が公立米内沢病院退職に伴い三浦浩子（公立米内沢病院）に理事代理をお願いした。理事変更があれば法務局へ届け出が必要となり、約3万円程かかる。理事は総会決議であり、総会前に理事を三浦さんに変更してしまうと今回の総会が成立しなくなるので、今回は、代理と言うことでお願いしたい。今後の連絡や実務活動などは、三浦さんをお願いします。

4) 事務所事務員 泉谷美穂子さんの給与について

- 予算では、年間30万円であったが、決算では34万円であった。県の委託事業でもある共有化事業の手伝いや、来年度開催の東北学会の事務的なお手伝い等もあり、勤務時間が増える傾向がある。年間予算（30万円）をオーバーするので、共有化事業の予算の中からも、協力をお願いしたい。

5) 50回東北医学検査学会準備委員会の具体的な内容について

- 今年度の新潟学会までに概要を紹介できるくらいまで進めておきたい。核となる人を決め準備委員会を立ち上げたいので、準備委員会の実行委員長として阿部副会長にお願いしたい。
- 阿部氏より：学会準備実行委員会を立ち上げるにあたり、ハード面とソフト面に大きく分けて考えたい。ソフト面で秋田組合の副技師長の三浦さんに協力をお願いして、公開講演の内容とか講師などについても一緒に検討していきたい。
- 理事以外でも優秀な人材がいるので、そういう人も視野に入れ実行委員会を立ち上げたい。
- 学会の視察に関して、新潟もいいが、全国規模の学会（アレルギー学会など）とコラボしている学会の視察もいいのではないかな。
- 公開講演に関して、技師会が独自に公開講演を開催してもいいのではとの意見もあった。
- アレルギー学会（2009年10月29～31日、キャッスルホテルとアトリオンがメイン会場の予定）とのコラボレーションということで、いろいろ難しい面もあるが、日時は2009年10月31日～11月1日、場所は保健センターを仮抑えしてある段階なので、今後必要に応じて対応していきたい。
- 10月30日の東北代表者会議の会場と31日の懇親会会場をどこにしたらいいか、アレルギー学会と意見交換しながら、決めていきたい
- 準備委員会の人選については、各支部から1名 中央は多めに選出したらどうか。
- 準備委員会の実行委員については、理事が担当することになると思うが、後継者ということも考えて、若くて動ける人を一人連れて来たらどうか。
- いろいろな意見も出たが、この場で決めるのも難しいので、常任理事の方で、推薦という形で実行委員を決めて、後日連絡します。

6) ① 平成20年度第1回通常総会について

- 開催日時：5月24日（土） 場所：ルポールみずほ
 - 14：00～15：00 総会
 - 15：00～16：00 精度管理 報告
 - 16：00～17：00 公開講演 秋田虫の会 木川ヒロシ先生
仮題「秋田の海岸線の松に寄生する虫」を予定
 - 17：00～ 懇親会

② 議案書（案）の内容・担当配分について

- 議案書は、各担当者が昨年度の議案書の雛型に従い作成、確認してください。議案書の作成の締め切りは4月いっぱいです。藤田副会長宛てメールで連絡してください。

- 平成 19 年度収支決算、特別会計の報告は各担当でお願いします。
- 4 月 15 日に監査は終わっていますが、収支決算表の部分で、繰越金という項目を作って、収支の合計金額を合わせたらどうか。
- 支出の支部交付金のところで、-40,000 円とあるが、支部からの事業計画書の提出が無かった分で、40,000 円を交付していない。今後、事業計画書の提出が無い研修会開催の場合、交付ができないので気をつけてください。各支部、学術部門研修会等でお金が余ったら、会計まで返金してください。
- 各支部で、係の人が集まって会議を開くときの交通費は、どこから出せばいいのか？という質問があったが、40,000 円の中で、自由に使ってもいいのではないかということであった。
- 今年度総会の費用として使える予算は 81 万円になっている。前年度予算を参考にすると、第 1 回総会で 66 万円、第 2 回総会で 15 万円です。
- 永年勤続者の記念品について、5 千円から 3 千円に減額したい。永年勤続者名簿、記念品の手配は事務局でやります。
- 賛助会員になってくれそうな会社があったら教えてください。

7) その他

精度管理委員会より

- 日臨技・基幹病院で測定している分で、月 1 回の測定が、8 月から 11 月まで毎週測定となります。測定項目ですが、IgG, A, Mが中止となりました。9 月には 20 日間連続測定もあります。施設内精度管理として、月例サーベイの結果を日臨技へ報告しますが、プール血清を管理資料として使用している県は少なく、そんな中で秋田県ではプール血清を使用している。6 月後半に日臨技より資料が届きます。
- 三浦徹さんが平鹿総合病院から秋田組合総合病院へ移動になったので、基幹施設の中から、代表を出して欲しい。(5 月に予定している共有化委員会の中で相談したい。)
- 基幹病院での測定は 3 年計画だったので、今年度で日臨技からの援助も終わるが、経済的なことも含め、今後のあり方について考える時期だと思う。各施設への指導ということも含めて共有化で取り上げていきたい。

県学会について

- 11 月 22 日(土)・本荘市のホテル「アイリス」で開催予定である。公開講演は「鳥海山の話」山の会会長さんを予定している。秋田市からの送迎バスも予定しているが、利用する人がどの位いるか把握したい。学会内容については、部門別研修会のほかに、昨年度シンポジウムの評判がよかった小規模検査室の研修会も考えているので、理事はできるだけ全員参加で協力して欲しい。

公益法人について

- 来年度、秋臨技では公益法人の申請を予定しているが、日臨技は今年申請するので、いろいろ参考にできる部分があると思う。
- 公益事業については、理事の方々の公益事業に取り組む意識を確認した上で、日臨技の状況を見ながら、考えていきたい。
- 現在取り組んでいる事業としては、精度管理があるが、この他にも何か取り組めるものがあるのではないかな。

その他

- 学術部の構成が 6 部門から 8 部門に変わったので、部門長と分野院員、各地区推薦委員も含めて学術部の名簿を作成し、議案書にのせる。
- 技師会会員名簿もそろそろ作成し直してもいいと思うので、総務担当の藤田副会長のところで検討してほしい。会員全員への配布でなくても、各施設 2~3 部でもいいと思う。印刷は県学会誌と抱き合わせとすれば安く済むのではないかな。

III 事務局からの連絡

1) 事務所事務員 泉谷美穂子さんの業務について

- いろいろな連絡が技師会事務所に入ったとき、泉谷さんから、各担当者あて連絡してもらおうこととしたい。

2) 公印と文書番号の使用について

- 配布する文書をそれぞれの担当者が立場に応じて把握、管理していけるよう文書番号を振りたい。
- 今後、技師会で配布文書について保管管理していかないといけないので、各分野で配布した文書は年度末に事務所に集めて保管する。
- 会長名で配布するときに、会長が知らないところで配布されたりするので、配布する前に、会長と事務局まで、メールで一報して欲しい。メールは事務所にパソコンが 2 台あるので、01 のほうへお願いします。
- 各施設への配布は事務所で曜日を決めてまとめて配布すれば経費も少なくすむので、発送を月 2 回（第 2 金曜、第 4 金曜）とし、前の週までに届いた文書をまとめて発送します。
- 他県と比べて事務員の給料が安いことが解った。仕事の量も増え、煩雑になってきていることも有り、時給を 100 円上げたいので、総会に提出したいと思う。

3) その他

- 今回の技師会だよりの紙質が厚かった。
- 中央支部で 5 月 10 日「食の安全」ということで講演会を予定している。

社団法人 秋田県臨床検査技師会

書 記	奈良 悦子
議事録署名人	宮野 勇徳
議事録署名人	佐藤 寛